

ブレス・トラック操作手順概要

計測開始までの準備

① カメラをベッドに取り付け、ケーブルを接続します



カメラケーブルを接続してください。

スライド機構によって、様々なベッド幅に対応できます。

② 本体の電源、パソコンの電源を入れます



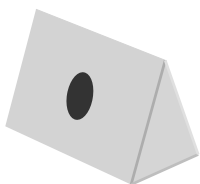
ノートパソコンに、ケーブルを接続してください。

ノートパソコンの電源は、装置付属のマルチタップか、パソコン本体のバッテリーから供給します。

本体側面に、電源スイッチがあります。コンセントを接続して、スイッチを入れてください。

コンセントを接続しないで、内蔵バッテリーを使ったコードレス駆動もできます。

③ 患者にターゲットを取り付けます

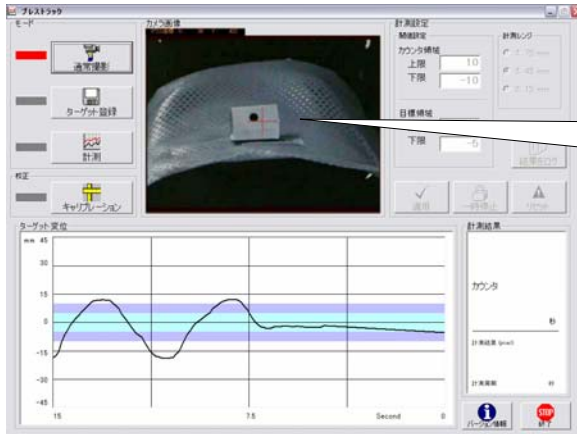


- ・ 体動による形状変化の無いもの
- ・ 形状のコントラストがはっきりしているもの

上記条件に合うターゲットをご自由にご用意ください。

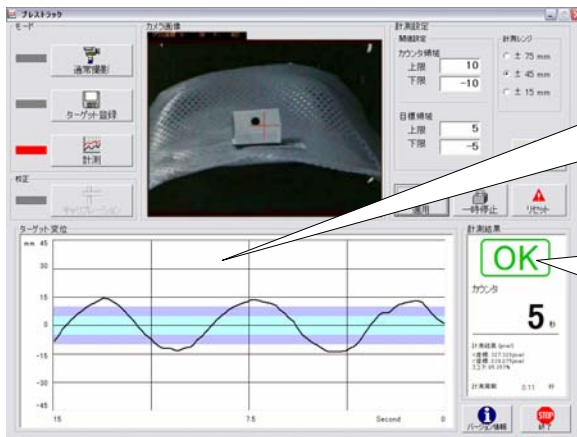
(左図は例です。)

④ ターゲットを登録します



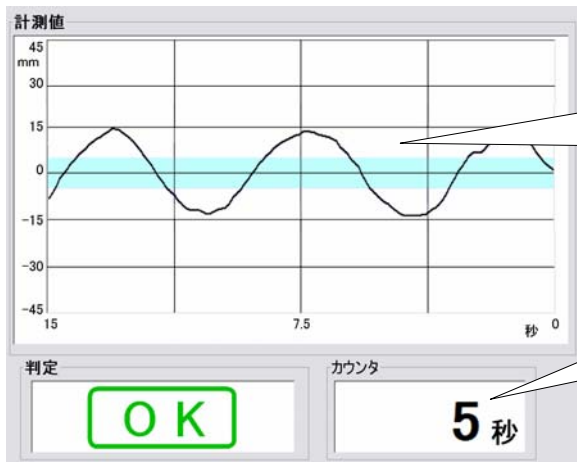
ターゲット登録ボタンをクリックして、画面上でのクリック&ドラッグで、ターゲットを登録できます。

⑤ 計測開始



計測ボタンをクリックすると、登録したターゲットの変位をグラフ表示します。目標領域を水色で、カウント領域を紫色で表示します。

ターゲットの目標領域を簡単に設定できます。ターゲットの変位が目標領域に達すると、OKを表示します。カウント領域内では、秒数をカウントします。



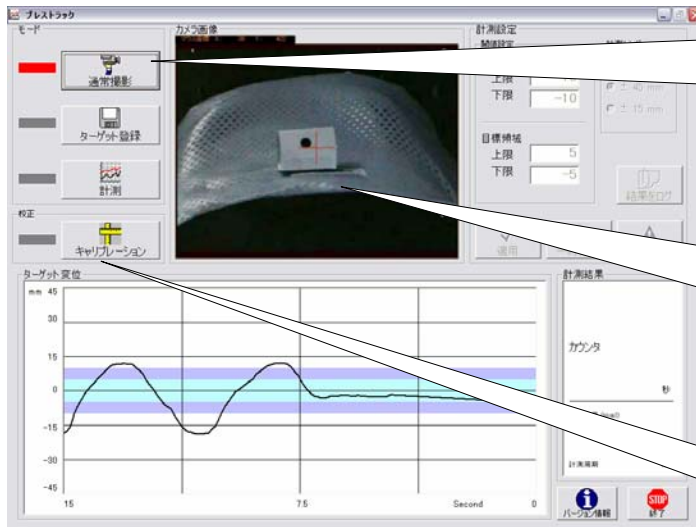
患者画面上にも、同時に同じグラフを表示します。目標変位も水色で表示され、グラフが領域内にある時はOKを表示します。

患者画面上にカウンタ領域は表示ませんが、設定したカウンタ領域内にある時はカウントアップします。

実際の体動と、グラフで表示する変位が大きく異なる場合はキャリブレーションすることで誤差を小さくすることができます。

ソフトウェアの機能

通常撮影／ターゲット登録モード



動作モード選択

通常撮影 — カメラの画像を表示します。
 ターゲット登録 — ターゲットを指定します。
 計測 — ターゲットの変位をグラフ表示します。

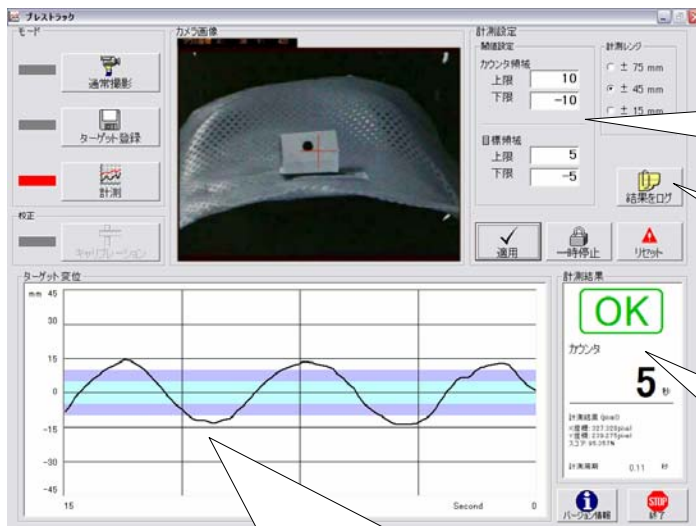
カメラ画像

カメラで撮った画像を表示します。
 ターゲットの登録やキャリブレーションも、この画面上でおこないます。

キャリブレーション

グラフ表示するターゲット変位量の較正をおこないます。

計測モード



目標領域／ターゲット領域設定

OK表示を出す領域と、カウントアップする領域を設定します。

結果をログボタン

計測結果をパソコン内に保存します。

OK表示／カウンタ表示

ターゲット変位が目標領域内に入ると、OKを表示します。

ターゲット変位がカウンタ領域内に入ると、カウントアップします。

ターゲットの変位グラフ

ターゲットの上下動をグラフで表示します。

目標領域を水色で、カウンタ領域を紫色で表示します。それぞれの領域は、マウスによって移動、拡大縮小できます。

◆製造販売元◆

エンジニアリングシステム株式会社

医療機器事業部

長野県松本市笹賀5652-83

TEL 0263-29-2633(直通) FAX 0263-29-2638

作成日 2007年7月